新潟大学　初修外国語
令和７年度第１，２ターム開講　グローバル理解科目　内容紹介

申請フォームから履修したい科目を選ぶさいに、紹介文を参考にしてください。

Ⅳ. ドイツ語

16. ドイツ語圏グローバル理解 1（スイス学入門）

担当：岡本 亮子

アルプスとハイジの国スイスは、九州くらいの土地に 900 万人が住んでいます。公用語が４つもあり、一人当たりの GDP や国際競争力は世界トップクラスの国。しかし昔は、貧しい国でした。どうやって今の豊かになったのか、その理由を探ってみましょう。

17. ドイツ語圏グローバル理解 2（ドイツ語文化圏研究入門）

担当：小林 りり子

ドイツ語はドイツだけで話されている言語ではありません。ドイツを中心にドイツ語文化圏の国々を紹介します。ドイツ語を使う社会は、日本はもちろん、英語を使う国と少し生活習慣が違います。ドイツ語の初歩を学びながら、その一端を見てみましょう。

18. ドイツ語圏グローバル理解 3（ドイツ語圏で暮らしてみれば）

担当：山田 容子

この授業では、サマーコースや留学やワーキングホリデー等、ドイツ語圏で暮らすとしたらどんなことに遭遇するかに想像をめぐらし、その実例を見ていきます。同時に、ドイツ語ができるとカッコイイという声をよく聞きますので、ドイツ語の読みかたの基本も学びます。

19. ドイツ語圏グローバル理解 4（東西ドイツの分断と統一って？）

担当：倉持 有香子

「ベルリンの壁」という言葉は世界史の教科書で見た。ベルリンを東西に分断していた壁が崩壊した・・・と。でも、よーく考えると？？？　壁って一枚板？　壁の終わりの端っこは？　壁のあった場所、形？　そうした壁にまつわる事柄を理解しながらドイツの戦後史や民族の文化を考えます。映画をみたり簡単な表現も。

20. ドイツ語圏グローバル理解 5（映像で見る日独文化比較）

担当：小林 りり子

　みなさんがイメージするドイツとはどんなものでしょう？　じゃがいも？　ビール？　サッカー？　この講義ではドイツってどんなところ？　日本と何が違う？　食べ物は？　文化は？　習慣は？などなど、素朴な疑問を映像を通して学び、みんなで調べながらドイツという国をより深く学習します。講義の後半はアルファベットやドイツ語での挨拶を学び、ドイツ語で自己紹介ができる！を目標に学習します。

21. ドイツ語圏グローバル理解 6（声に出すドイツ語）

担当：小林 りり子，山田 容子

　ドイツ語が読めたら、話せたらカッコいいですね。Seele はゼーレ、Jäger はイェーガー、Frieren はフリーレン･･･漫画やアニメのキャラクターの名にはドイツ語の響きがたくさんあります。この授業でドイツ語の音の特徴を知り、カッコいいドイツ語の響きを大いに体験しましょう。